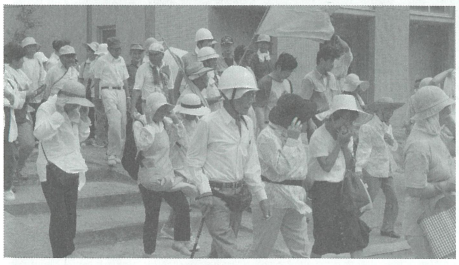
きょなん

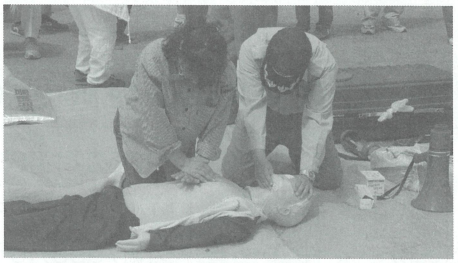
町報　第423号
発行：鋸　南　町
編集：合併調整室
〒299-2192
千葉県安房郡鋸南町下佐久間3458
☎0470-55-2111㈹
毎月１回
ホームページ：http://www.town.kyonan.chiba.jp/

10
2003




避難訓練


初期消火訓練


応急救護訓練




自衛隊・鋸南町赤十字奉仕団による炊き出し訓練


衛星電話体験

「備えあれば憂いなし」－大帷子下・江月・吉浜・大六地区で防災訓練を実施－

訓練は8月31日、午前9時の地震発生のサイレンを合図に住民の避難訓練で開始され、対象地区の住民280名が参加し、10時から鋸南中学校にて模擬訓練が開始されました。防災訓練に参加された方々は真剣な面持ちで訓練に取り組んでいました。

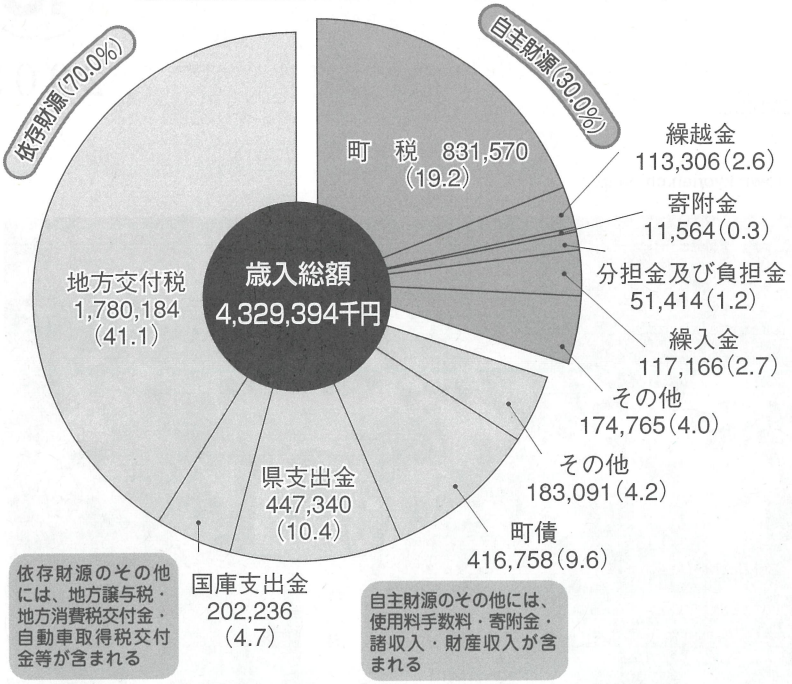
平成14年度

一般会計
特別会計
決算の概要

町民の皆さんから納めていただいた税金をはじめ、各種交付金や国県からの補助金などが、どのように使われたかを明らかにする決算が、９月定例会議会で認定されました。今回認定された平成14年度決算は、一般会計歳入歳出決算、国民健康保険特別会計歳入歳出決算、老人保健特別会計歳入歳出決算、介護保険特別会計歳入歳出決算で、その概要は次のとおりです。

歳入の内訳

単位は千円、
カッコ内は構成比（%）



歳入

平成14年度の歳入総額は、43億2,939万４千円で、前年度比0.7%の増となりました。

その内訳は、町税、財産収入、繰入金、繰越金などの自主財源が30.0%、地方交付税、国庫支出金、町債などの依存財源が70.0%を占めており、前年度に比べ自主財源の比率が減少する結果となりました。

歳入増の要因としては、景気低迷による町税の減、制度改正による地方交付税の減となったものの、電源立地交付金事業等の増に伴い、国・県支出金の増及び町債等が増となったためです。

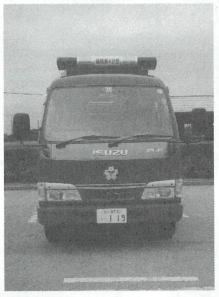
性質別歳出の内訳



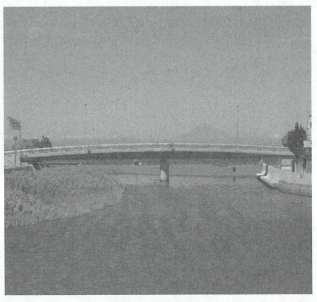
1経常的経費	29億5211万8千円（69.8%）
人件費	11億5488万9千円（27.3%）
物件費	4億7569万0千円（11.2%）
扶助費	1億5966万4千円（ 3.8%）
公債費	6億2904万0千円（14.9%）
維持補修費	1862万7千円（ 0.4%）
補助費等	5億1420万8千円（12.2%）
2投資的経費	8億5788万4千円（20.3%）
普通建設事業費	8億5085万5千円（20.1%）
災害復旧事業費	702万9千円（ 0.2%）
3積立金	2654万1千円（ 0.6%）
4投資及び出資金貸付金	1億3092万9千円（ 3.1%）
5繰出金	2億6406万2千円（ 6.2%）

カッコ内は歳出に対する構成比

平成14年度の主要事業



第4分団消防ポンプ車



渚大橋

・小保田区コミュニティセンター建設補助	14,000千円
・老人福祉センター増築工事	67,305千円
・ディサービス事業	53,203千円
・合併浄化槽設置整備事業補助	18,966千円
・中山間地域等直接支払制度補助金	26,289千円
・大帷子農道整備事業	10,001千円
・県営水環境整備事業負担金	25,200千円
・東京湾漁業総合対策事業補助金	17,014千円
・地域水産物供給基盤整備事業	35,499千円
・花いっぱい事業	3,037千円
・町道1－106号線改良	19,265千円
・渚大橋橋梁架換工事	152,244千円
・国土調査事業	15,414千円
・消防ポンプ自動車購入事業	17,220千円
・保田小学校耐震改修工事	244,650千円

一般会計決算額

歳入総額	43億2,939万4千円
歳出総額	42億3,153万4千円
実質収支	9,681万円
単年度収支	△ 1,499万6千円

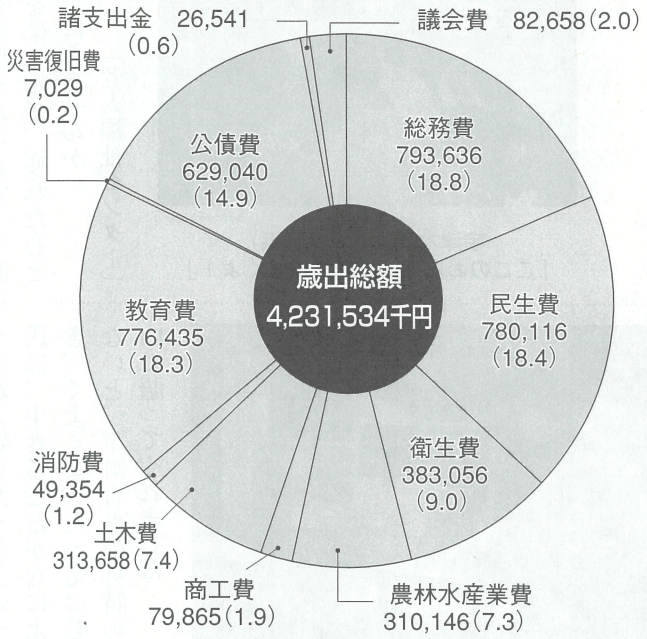


町民の負担と町の支出

1人あたり使われたお金	40万4042円
1世帯あたり使われたお金	114万6136円
1人あたり負担した町税	7万9401円
1世帯あたり負担した町税	22万5236円

人口 10,473人　世帯数 3,692世帯
（平成15年3月31日現在）

歳出の内訳



歳出

歳出総額は、42億3,153万4千円で、前年度比1.1%の増となりました。

歳出を目的別にみてみると、総務費については循環バス運行事業は減となったものの行政ネットワーク整備事業の増等により1.1%の増、民生費は老人センター増築事業、通所介護サービス事業、介護保険会計繰出金の増等により3.8%の増、衛生費は水道・病院会計繰出金の減等により14.7%減、農林水産業費は地域水産物供給基盤整備事業、大椎子農道整備事業等の増により14.6%増、商工費は観光案内所整備事業の減等により13.3%の減、土木費は渚大橋改修事業等により3.3%増、消防費は防火水槽設置事業、消防ポンプ自動車購入事業の減等により38.2%の減、教育費は保田小学校耐震改修事業の増等により23.6%の増、諸支出金は減債基金、中山間地域農村活性化基金積立金の減により71.0%の減となりました。

歳出を性質別にみてみると、人件費・物件費・公債費などの経常的経費は29億5,211万8千円で、0.1%増となっています。また、投資的経費は8億5,788万4千円で、前年度対比22.2%の増となっています。

収支

歳入歳出差引額の9,786万円のうち翌年度への繰越財源105万円を除いた実質収支は9,681万円となり昨年度の実質収支1億1,180万6千円との比較である単年度収支額は△1,499万6千円となりました。

尚、町の借金である起債残高は、平成14年度末で元金65億1,143万3千円余りとなっています。町財政は、交付税の減額等厳しい状況が続くものと予想されますので、経費の削減・合理化に努めてまいります。

●国民健康保険会計

国民健康保険特別会計は、歳入総額11億7,122万9千円（前年対比1.3%の減）、歳出総額10億7,301万2千円（前年対比2.2%の減）となりました。このうち保険給付費が6億2,912万7千円で全体の58.6%を占め、その他には老人保健拠出金3億2,973万8千円などがあります。加入者が負担する保険料は、1世帯当たり16万1千円、1人当たり7万4千円となりました。一方、支出した保険給付費用額については、1世帯当たり39万6千円、1人当たり18万3千円となりました。



●老人保健会計

老人保健特別会計の概要は、歳入総額が13億5,010万4千円（前年対比2.1%の減）、歳出総額が13億5,556万3千円（前年対比2.0%の減）となり、差引収支は△545万9千円となりました。なお平成15年3月31日現在の医療対象者数は、2,382人となっています。



●介護保険会計

介護保険特別会計の概要は、歳入総額が8億1,489万9千円で、歳出総額が7億9,197万円となりました。このうち保険給付費が7億4367万4千円と、全体の93.9%を占めます。なお平成15年3月31日現在の第1号被保険者数（65歳以上の方）は3,315人で、内要介護(支援)認定者数は436人となっています。



見返り美人の里

笑楽の湯

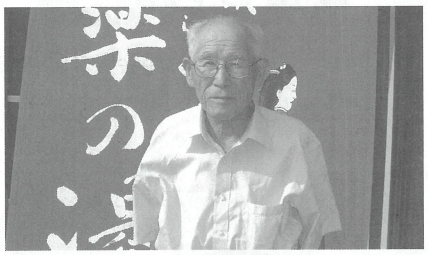
毎月26日は**お風呂の日**。今月は、**「りんご風呂」**です。友好都市「辰野町」のりんごを使います。

昔から1日1個のりんごは医者を遠ざけるという諺があります。

りんごの皮にはビタミン・ミネラルが多く含まれており、お風呂に入れると新陳代謝の促進や保温・美肌効果があります。また、リンゴ酸、クエン酸等多くの有機酸を含むりんごは疲労回復にも効果があります。季節の香りを楽しんで、疲れた心と体を癒しにきませんか。

〔老人福祉センター〕

今月のお風呂大好き



宇津木壽雄（かずお）さん（吉浜）
「ここのお風呂は神経痛にきくよ！」

水村喜一郎氏講演会開催

資料館で開催された「水村喜一郎の世界」展に合わせて8月30日に中央公民館で、水村喜一郎氏講演会「絵を描きながら生きて」が開催されました。少年時代に事故で両腕を失いながらも、口に絵筆をとり、今なお第一線で活躍する画家として、少年時代の話やハンデを克服した人生経験などを語る水村氏の講演に、一五〇人もの人が会場に詰めかけ、熱心に聞き入っていました。

とにかく小さい頃から絵を描くのが大好きだったという水村氏は、生きることがなにより好き、くよくよしたってはじまらないと、下町育ちの独特の語り口で語ってくれました。



各地区で秋の大運動会開催

スポーツの秋を迎え、町内各幼小学校と中学校で運動会が開催されました。運動会当日は子供達の元気な声とお父さん・お母さんの応援が校庭に響きわたっていました。



鋸南中学校



保田幼小学校



勝山幼小学校



佐久間幼小学校

ボランティア日記

「ポピーコーラス」グループ

代表　原　悦子

今年の3月に15周年コンサートを開催したうら若き？女性と男性1名のコーラスグループです。男性92歳・女性90歳を筆頭に構成されています。

ボランティアをしているのか、されているのか、わかりませんが、私達の歌を聞いて下さった方達からは「上手ですね」という言葉は、なかなか頂けないのですが、「雰囲気が良い」「暖かさが伝わってくる」「幾つになっても頑張れる元気をもらった」とか、何処へ行っても言って頂き、団員の励みになっています。そんな私達、美男・美女軍団と共に元気になりませんか、大きな声で歌う事は、心身のリフレッシュになります。門を大きく開いて、お待ちしております。



ポピーコーラスグループ

つなげよう声のネットワーク

声のバトンタッチ（20）

町民のみなさんの「声」をバトンタッチでつないで、友だちから友だちへ「声」のネットワークを広げていくコーナーです。

お尋ねする内容は、①仕事や趣味　②最近心に感じた事やうれしかったこと　③町政に望むこと　などです。次はあなたもネットワークの一員です。

①我家は、兼業農家で自家消費用の水稲と野菜を作っていて、冬野菜のナ花は少量出荷しています。ナ花栽培については、これまで使用できた除草剤が使用不能になった為、作業方法を変えました。
また、これからは有機野菜も栽培してみたいと思っています。これまで以上に考える農業が必要となります。

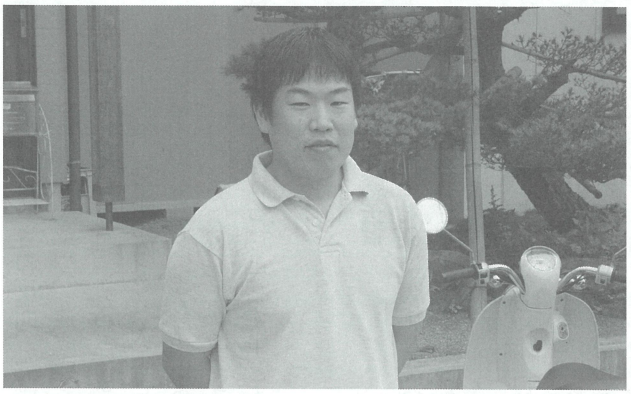
②「要介護度５」の義母の在宅介護をしています。義母が寝たきりにならない様に、トイレ指導をしています。家族でそれが出来ない時は、ヘルパーをお願いしています。また、毎日の様に、デイサービスを利用しています。町・社会福祉協議会やデイケア施設・医療機関の方々の支援を頂きながら、介護保険制度を活用し、見守られ介護をしています。

③９市町村の合併に興味があります。合併をして地域の生活がどう変わるのか！また、変わらないのか！住み易くなる様に期待しています。



永井　亮子さん（本郷区・主婦）

次回は福原　庸子さん（上佐久間区）へバトンタッチされます。



本間　稚啓さん（本郷上区・住職）

①遣水寺の住職として鋸南町にきて早４年、仕事との両立で忙しい毎日ですが、お檀家さんをはじめ、ご近所の方々に親切にしていただき充実した日々を過ごしています。

ずっと続けているバスケットボールも、地域の大会へ参加したり、時間のある時にはミニバスに顔を出したり、楽しく続けています。

②昨年から少しずつ境内の整備を始めました。何かを始めるには周りの方々の協力や、理解が不可欠かと思いますが、おかげさまで順調に進めることができています。地域の方々に恵まれていることを改めてありがたく感じています。河津桜の植栽もして頂き、今後の境内が楽しみです。

③地域活動に参加すると、同年代の人が非常に少ないことを実感します。もっと近くに仕事を見つけられたら活躍できる人も増えるのではないかと思うと残念です。若者も高齢者も住み易く、昔からの文化や風習を残した町になってほしい。

次回は刈込　博晴さん（市井原区）へバトンタッチされます。

善意の寄付

次の方から町へ善意のご寄付がありました。

鈴木　勝さん（上佐久間）20万円　桜苗木代

西村　忍さん（埼玉県）　5千円　一般寄付

2003 見返り美人コンテスト 出場者大募集



日　時	平成15年11月2日（日）午後～
場　所	町立中央公民館　1階　多目的ホール
規　定	年齢16歳以上の方 町内外・未婚既婚は不問
賞	見返り美人3名（うち町内出身者または町内に勤務先がある方を含む）には豪華賞品を贈呈します。 また、出場者全員に、記念品を贈呈します。
申込締切	平成15年10月24日（金）まで
その他	当コンテストは公開審査形式で、出場者は浴衣で出場していただきます。

問い合せ・申し込み　まちづくり課　☎55－1560

家庭教育通信 すくすく NO.28

「夏休みの体験活動報告」

今回は、夏休みに教育委員会が主催した体験活動を通じて、子どもたちが感じたことや、体験活動の必要性についてお話いたします。

◇はじめに

テレビやゲームなど屋内の遊びが増え、自然の中で遊ぶことが少なくなってきているような気がします。自然の中で遊ぶことや、体験を多く積むことは、驚きや感動を経験し豊かな感性をはぐくむとともに、自然や環境を大事にする心、忍耐することの大切さなどを学ぶことができます。

◇アウトドアクラブ

鋸南町アウトドアクラブは、小学生二十六名（小学四年生～六年生）が集まり、様々な体験活動に挑戦しています。この夏には、広さ二間ほどの本格的な秘密基地（小屋）づくりを行いました。また、秋には、シーグラスによるアートや、浮島探検などを予定しています。これらの活動の目的は、地域の魅力や、特色を再発見し、子どもたちのもつアイデアや、創造性を大きく膨らませ、成し遂げたときの達成感を、仲間と共感することを目的としています。

秘密基地づくりでは、普段なかなか使うことのない「のこぎり」や「さしがね」「のみ」等を使い、慣れない手つきで、柱の一本一本を加工しました。その柱を組み立て、小屋の形ができあがった頃には、子どもたちの顔は本当に楽しそうな顔をしていました。完成させるまでの苦労や、難しさの反面、完成したときの充実感や、達成感を感じ取っていたことと思います。中には、将来の夢を「大工さん」と話す子どももいました。また、「家に帰ったら、家族にイスを作ってあげる」と話す子どももいました。

◇保育体験学習

中学生を対象に実施している保育体験学習では、参加した生徒から「すご～く可愛かった」「保育園が懐かしかった」「おむつ交換やったよ」「また、行きたい」など参加して良かったという感想がほとんどでした。自分の小さい頃を思い出したり、小さい子と接する難しさや、楽しさを改めて感じたことと思います。そして、この保育体験を通して、小さい子どもは、何をしたら喜ぶのか、どうして泣いているのか、何がしたいのかなど、苦労しながら学んだことでしょう。

○おわりに

体験活動は、普段日常の中ではなかなか得ることのできない、驚きや感動があります。今回、実施した夏休み中の体験行事にも、子どもたちには、驚きや感動がありました。そして、そこに至るまでの努力や、忍耐、更には創造力やアイデアを出し、悩むことの大切さを少しでも感じたと思います。

子どもたちは、様々な体験や経験の中から、将来への夢や希望を膨らませています。保護者の皆さんは、その夢への応援団です。ぜひ多くの体験や、経験を、させてみてはいかがでしょうか。



（教育委員会　生涯学習係）

健康通信

「ひきこもり」

学校や仕事に行けず、何か月も部屋に閉じこもって過ごす「ひきこもり」は全国で百二十万人ともいわれます。社会的ひきこもりとは病名や診断名ではなく、不登校や家庭内暴力などと同様、その状態を示すことばです。社会参加をしない閉じこもる状態が6か月以上続き、その第一の原因が精神障害とは考えにくい場合「社会的ひきこもり」が疑われます。ひきこもりのきっかけにはいろいろあるようです。友人関係、失恋、成績の低下、受験の失敗などの挫折経験だったり、はっきりした理由がみあたらないひきこもりも全体の4割いるといわれます。問題は原因よりも一度ひきこもったらそこから抜け出しにくくなるということです。ひきこもり状態にある人は、「個人」と「家族」と「社会」という三者が接点を失い相互に交わったり、連動したりするバランスを失くしています。本人に対する家族の声かけ、励まし、叱咤などの刺激は、お互いのやりとりとして成立することはなく、本人にとって、不安や焦りをつのらせ、追い詰めることになりかねません。また家族は世間体を気にして家族だけで解決しようとしがちです。しかし良かれと思ってしたことがますます問題をこじらせ悪化させることがあるのです。ひきこもり自体は病気ではありませんが、それが長期化してこじれると、さまざまな精神症状が出てきます。するとひきこもりとよく似た経過をたどる精神疾患との判別が必要になります。ひきこもりでは放置しておいて自然に回復することはまれだといわれます。ひきこもって6か月以上経過した場合は家族だけでも相談を開始したほうがよいとされます。家族がひきこもりの理解をし望ましい対応に変わってくると、本人も自分も一緒に相談にいってみようという気持ちになるのです。家族はあせらず、あきらめず安定した態度で本人に接していくことで改善に向かっていくことでしょう。

（保健福祉課　保健係）

歴史資料館

広重房総珍道中

●連載136

木更津船で房総へ

日本の風景を詩情豊かに描き、今なお多くのファンを魅了する浮世絵師、歌川広重。「東海道五十三次」シリーズは、あまりに有名です。

風景画家として、やはり旅は好きだったようで、房総には二度ほど訪れています。この時の彼の足どりを旅日記からたどってみることにしましょう。

天保十五年（一八四四）三月二三日から四月一日、広重四十八歳、鹿野山参詣を目的とした小旅行に出ました。

房総へは江戸から木更津まで木更津船という船便が一般的でした。普通だったら五時間ほどですが、夜四ツ頃（十時）に江戸橋を出航した広重の乗る船は、あいにく無風で手間取り、翌日の昼頃に木更津に着いたそうです。約十四時間、漂流といった感じです。



富士三十六景
上総鹿野山　広重画

木更津に上陸した広重は、木更津一の回漕問屋、小泉八十郎方で昼食。左手に海を見ながら歩き、久津間村の名主早川清右衛門宅を訪れます。広重は木更津に知己が多かったようで、卯八、庄兵衛、勇吉などの名が日記に見えます。

広重、酔って大失敗

二七日、庄兵衛、勇吉らと鹿野山に出立。神野寺、箕尾天王社を参詣し、鹿野山の旅籠、丸七に泊まります。「旅人込合、夜具不足にて二人もやいなり」。宿は超満員で、一つの布団に二人ずつというありさまでした。それもそのはず、この時は、白鳥神社の祭礼だったからです。

鹿野山の白鳥神社の祭礼ははしご獅子舞という民俗芸能が有名で、これが、広重の今回の旅の目的だったのではないかと思います。

その晩は、相部屋の富津の人二人と酒盛りし、大いに騒ぐと、日記にあります。

二八日、白鳥神社の祭礼を見物した広重は、木更津に戻り、翌二九日、坂戸大明神を訪れ、山上からの海辺の眺望に感心しています。

その後、甚左衛門宅に寄りいろいろご馳走、さらに瓜倉弥兵衛宅に寄り、またまたご馳走、夜五ツ時に久津間村に戻ります。広重は、けっこう酒好きだったようで、はめをはずすこともしばしば。この夜、千鳥足の広重は、川に転落、同行の勇吉に迷惑をかけてしまいます。

「くるり川ふみこみ、少々めいわく、この夜大酔」と日記は締めくくっています。

四月一日、九ツ頃木更津船で出帆、順風で日暮頃、江戸へ着いています。広重第一回目の房総旅行でした。（続）

［歴史民俗資料館・笹生浩樹］

生涯学習 みんなで学ぼう

「初歩の油絵教室」

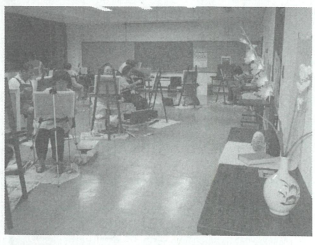


先生の指導を受ける参加者

公民館では、６月から隔週の木曜日に溝口七生先生（下佐久間在住）を講師に迎え、「初歩の油絵教室」を開催しています。

現在２０名の方が３作目の制作に取り組んでいるところです。

先生は、楽しく、自分らしい油絵を描くための基本・基礎について指導しくださいます。「ものと作品を見る（観る）目・眼の力」をのばすことが良い作品を制作するうえでとても大切だそうです。そして何より大切なことは「自分らしさ・個性」だとも先生はおっしゃいます。



自分らしさをキャンバスに…

公民館の講座室は２週に１度、絵の具の匂いにつつまれて、ゆったりとした時間が流れる中、ザッザッザッというキャンバスを走る筆の音だけが聞こえるアトリエになっています。

問い合わせ先　中央公民館☎５５－４１５１

わんぱく登場



大智（だいち）くん（1歳6か月）
〔鈴木　健さん　第2子　中道台〕

この夏の大事件！タイヤの中に手を入れたら蜂に刺された。そしてその巣をとってくれたおじいちゃんも刺された。おじいちゃんありがとうね。お兄ちゃんはおもちゃを貸してくれるしおばあちゃんはお世話してくれるしママはここに応募してくれるしパパは滑り台を作ってくれたし僕はとっても幸せだ。

桜だより

～苗木の配付～

今年6月、町では区長さんを通じて、この冬に河津桜の植栽にご協力いただける区や町民の方を募集しましたところ、6月末には多数の要望書の提出がありました。

集計した結果、21地区から区及び個人実施分あわせて3千200本以上の苗木の配付要望がありました。今年度、町が予定していた配付本数は2千本余りでしたので、要望に対して1千本以上不足するため、皆さんからの要望を削らねばならず、町ではその方法について苦慮していました。

しかし幸いにも佐久間地区の役場職員及び退職者で構成されるやまびこ会より1千本、町民の方から200本、習志野空挺レンジャーの学生一同から75本の苗木の寄贈があり、これで皆さんの要望を満たすことが可能となりました。

町では9月25日付けで、区長さんあてに区や区民の方に配付する苗木の本数を記載した、苗木配付決定通知をお送りしました。皆さんからの要望は、ほぼ希望どおりとなっておりますので、区長さんにご確認をお願いします。

ただし、支柱用の青竹については、苗木1本について1本とさせていただきました。というのは、先月号でご説明したとおり、1本支柱にくらべて3本支柱は弊害が多いため、できれば皆さんには1本支柱で植栽をお願いしたいからです。従って苗木1本につき複数本数要望された方については、要望を減らさせていただきました。

苗木の配付は、特に希望がない限り1月20日過ぎを予定しています。詳細については1月初旬、区長さんあてにご連絡いたしますので、いましばらくお待ちください。



やまびこ会の皆さん

B&G NEWS

◇**温水プール開館時間**　10時～21時
　12時～13時及び17時～18時は休憩
◇**休館日**　月曜日
◇**プール使用料金**
　町内者　小中学生 150円・一般 300円
　町外者　小中学生 250円・一般 450円



《鋸南町B＆G海洋センター水泳教室紹介～その二～》

☆チャイルドコース☆

練習日・時間　…　木曜日　15：40～16：30　週1回　1回50分
対　象　者　…　幼稚園年少組
練習内容　…　水遊びを行いながら、水に浮くこと・もぐることの練習をおこないます。

＊水を怖がってしまうお子さんも、もぐれるようになることを目標に練習しますので参加をお待ちしています。

◇**お問い合わせは**　鋸南町B＆G海洋センター　☎55－4411まで

あの子もこの子もきょなんの子

おめでとう

（8月25日から9月25日迄の届け分）



赤ちゃん	生まれた日	両親の名前	地区	わが子へのメッセージ
☆川名　彩夏（さな）ちゃん	平成15年8月26日	裕　之・美　香さん（第2子）	中　原	女の子らしく元気に育ってネ

※掲載を希望しない場合は、出生届提出時に申し出てください。

写真さしあげます

広報に掲載した写真さしあげます
一部希望に添えない場合もあります
◇合併調整室広報係
☎55－4803

人の動き

世帯数	3,710世帯	(＋ 2)
人　口	10,434人	(　0)
うち男	5,011人	(＋ 2)
女	5,423人	(－ 2)

9月1日現在　（前月比）

編集後記

日本でも災害・地震などの問題に対し、危機管理の重要性が問われております。「天災は忘れた頃来る」と言う寺田寅彦の有名な言葉がありますが、今回の防災訓練に参加した方達からは、緊張感が伝わってきました。防災意識を高めるためにも、家族で話してみてはいかがですか。

（K）